



## 第 10 章

### 目 標 値 の 設 定 と 評 価 ・ 見 直 し



# 第10章 目標値の設定と評価・見直し

## 10.1 目標値の設定

本計画の進捗管理するための目標値を以下のとおり設定します。

### ①都市機能に関する目標値

指標	単位	基準値	目標値	
		H28年度 (H22国勢調査)	H42年度 (H37国勢調査)	H52年度 (H47国勢調査)
都市機能誘導区域等内における都市機能増進施設充足区域	区域	12	16	16
居住誘導区域内における国勢調査に基づく人口密度	人/ha	50	50	50

※都市機能誘導区域等とは、都市機能誘導区域及び準都市機能誘導区域を指す。

### ②ものづくり力に関する目標値

指標	単位	基準値	目標値	
		H28年度 (H22国勢調査)	H42年度 (H37国勢調査)	H52年度 (H47国勢調査)
市内従業地による就業者数の維持	千人	251	251	251

### ③公共交通に関する目標値

指標	単位	基準値	目標値		
		H28年度 (H27実績 <sup>5</sup> )	H32年度 (H31実績 <sup>5,6</sup> )	H42年度 (H41実績 <sup>5</sup> )	H52年度 (H51実績 <sup>5</sup> )
公共交通機関の1日当たり平均利用者数の増加	千人	161	171	171	171

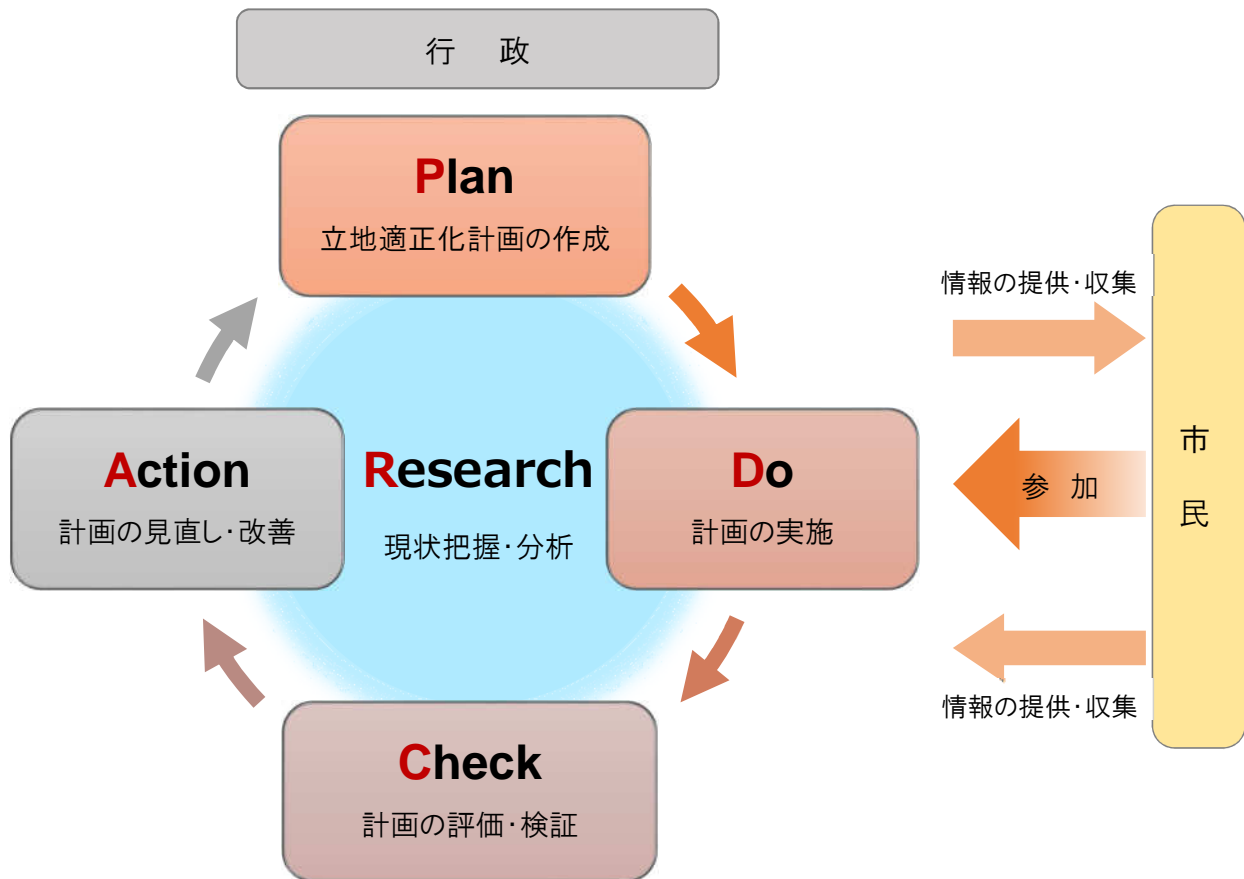
<sup>5</sup>姫路市統計情報に記載のある鉄道利用者数は年間総数のため、365で除した数値とする。

<sup>6</sup>姫路市総合交通計画の目標値（年間1人当たり約120回利用）

## 10.2 評価・見直し

本計画はおおむね20年後の長期的な展望を踏まえて検討していますが、「西播磨地域都市計画区域マスタープラン」や「姫路市総合計画」、「姫路市都市計画マスタープラン」、「姫路市総合交通計画」などの見直しや人口動向に大きな影響を及ぼす社会経済情勢の変化等によって見直しの必要性が生じた場合は、適宜情勢に応じた必要な見直しを行います。

また、都市計画基礎調査などをもとに、人口規模、市街地の面積、土地利用、交通量等、都市の現状や変化の様子などを的確に把握し、おおむね5年ごとに「R-PDCA<sup>7</sup>サイクル」により進行管理を行うとともに、見直しの検証を行います。



立地適正化計画の評価と見直し

<sup>7</sup> R-PDCA サイクルとは、従来のPDCA サイクルの各段階において現状把握・分析 (Research) を重視したもの